

趣意書

情報通信技術研究交流会

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

1. 趣 旨： 我が国の首都圏への一極集中が問題となっている中で、関西地域は、その文化、歴史、伝統などの重みに加え、産業、経済面においても強力な基盤を有することから、首都圏に対する産業、文化、学術等の一つの大きな極としての役割を果たすことが期待されております。
- 特に、学術分野においては、本地域は大きなポテンシャルを有しており、新たな技術開発、研究開発、基礎的研究など我が国の科学技術研究に対する本地域の寄与はますます大きなものとなることが期待されます。
- 情報通信分野の研究開発においては、独立行政法人情報通信研究機構 未来ICT研究所、それに先立つATR4社の設立等に加え、首都圏企業の研究開発部門の関西進出が続き、同分野の研究開発活動が更に活発化してきております。しかしながら、研究開発の分野においても、学会活動、各種研究会の開催等の新たな情報の発信源は首都圏に集中しており、大きな基盤を有する関西においても首都圏に比べて、研究のホットな情報の入手の困難さ、産学官の研究者、技術者間の交流の機会の少なさといった問題が指摘されております。今後、関西地域において情報通信分野の研究開発ポテンシャルをさらに高め、人材の確保、育成等を図っていくためには、本地域の研究者、技術者の交流、情報交換等を活発化させ、研究開発基盤を更に充実させていくことが必要であります。
- 本交流会は、通信総合研究所関西先端研究センター（現国立研究開発法人情報通信研究機構未来ICT研究所）の設立を契機に、情報通信分野の産学官の研究者、技術者の組織の枠を越えた密接な交流、情報交換の場として機能し、官界、学界、産業界の新しい研究動向、技術動向等のホットな情報を提供し合うことによって、同分野のヒューマンネットワークの基盤を強化し、本地域の研究開発ポテンシャルを更に向上させ、情報通信技術開発の振興へ寄与していくことを目的とするものであります。

2. 名 称：情報通信技術研究交流会
Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications
3. 目 的：情報通信分野における研究者、技術者、関係者の交流を促進し、関西地域における技術開発及び研究開発の振興に資することを目的とする。
4. 分 野：情報通信の全般の技術分野を対象とする。
(1) 電波、通信システム
(2) 知的通信（情報処理等）
(3) 通信エレクトロニクス（物性、デバイス、光技術等）
(4) その他
5. 事業内容：今後会員の参加により決めていくが、当面は、
(1) 研究交流のための定期的会合の開催。
大学、民間、自治体等の第一線の研究者、技術者、関係者による講演会、談話会、勉強会、見学会等及び懇親会の実施。
関西一円で交流会を適宜開催。
(2) 研究会、シンポジウムの企画。
(3) ニュース発行。
(4) 情報通信分野における関西地域開発への寄与。
(5) その他
とし、さらには専門別の分科会の開催を目指す。
6. 会 員：法人・団体会員（に所属する職員）、及び個人会員。
7. 組 織：会長、副会長、監事、及び運営委員会で構成。必要に応じ分科会を設ける。規約は別途定める。
事務局は、当面は国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所に置く。
8. 年 会 費：法人・団体会員一口5万円（一口以上）
個人会員一口1万円（大学関係者等は除く）
シニア会員一口5千円